

The Museum of Modern Art, Saitama



MOMAS Collection
 美術館1階は常設展示室。
 MOMASコレクション第4期が展示中。こちらは3月31日まで。榮水さんが見ているのは重村三雄の「1975年の私」(1975年)
 ◆2012 MOMASコレクション 第4期
 期間:3月31日回
 料金:一般200円、大高生100円

開館時間:10:00~17:30(展示室への入場は、閉館の30分前まで) 休館日:月曜日(祝日または県民の日の場合は開館)、年末年始、メンテナンス日
 〒330-0061 さいたま市浦和区常盤9-30-1
 アクセス:JR「北浦和駅」西口から徒歩約3分
 Tel: 048-824-0111 Fax: 048-824-0119
 詳細はwebをご確認ください→<http://momas.jp/>



Paul Delvaux
 開催中の企画展「ポール・デルヴォー展 夢をめぐる旅」に潜入。デルヴォーはベルギー出身の画家で、今回の出品作品の半数がなんと日本初公開!まだ観ていない方は足を運んでみては?
 ◆企画展「ポール・デルヴォー展」
 期間:~3月24日回
 料金:一般1100円、大高生880円



It's My works!



「積もる宿る」(2012年)
 w18xh14cm/アクリル絵具、綿布、パネル
 何層にも重ねた絵具層の中には、無数の点と浮遊する楕円、そして金色の編み込みが。観る角度によって表情を変える、小さな宇宙のような作品。(表紙に使用されている作品です)



「入ると、とける」(2010年)
 w91xh72cm/油彩、キャンバス
 テントの中に入ると、光り物も全てが溶けて混ざり合うという世界を描いた作品。榮水さんの作品の中では珍しい多色使用で、何色もの点が塗り重ねられている。

2年前に近代美術館で展示をしたこともある榮水さん。近年の作品を少しご紹介!1つの作品を作るのになんと平均3ヶ月もかかるのか…!

県庁を置く浦和は行政区としてのイメージが強いけど、実は「アートの街」としての一面も。街には美術館やギャラリーが点在し、街ぐるみでアートイベントを開催するなど、日常の身近にアートが存在する場所なのだ。今回はそんなアートな側面にスポットライトを当て、街の魅力に迫った!



URAWA ART!!

新鋭アーティスト 榮水亜樹 とめぐる

浦和艺术!



春日部市出身の新鋭アーティスト 榮水亜樹さんです!

埼玉県立近代美術館

世界的建築家・黒川紀章が設計を手掛けた美術館。埼玉ゆかりの芸術家からモネやピカソといった海外の巨匠の作品まで、近現代の美術品を所蔵・展示している。「椅子の美術館」としても知られており、館内には世界中からコレクションされたユニークな椅子があちこちに。屋外にある様々な彫刻作品にも注目してみてください。

Topics!!

こんなところにも、黒川建築がありました!

実は美術館のある北浦和公園内には、もう1つ黒川紀章の作品が。それは故人の初期の代表作である、「中銀カプセルタワービル」のカプセル・モデル。美術館開館30周年にあたる昨年1月16日に、中銀ビルディング株式会社より寄贈された。

